

既存試料・情報の提供に関する情報公開について

岡山旭東病院では以下の通り、患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。

インフォームド・コンセントを実施しない場合において、「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する指針」に基づき、情報公開いたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。ご自身のデータについて、本研究への利用を望まれない場合には、担当責任者にご連絡ください。

西暦 2026 年 5 月 19 日作成

研究課題名	血栓回収療法における院内ワークフロー改善と D2P・D2R への影響
研究期間	倫理委員会承認日 ~ 2027 年 3 月 31 日
既存試料・情報の収集期間	2020 年 8 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日まで
研究対象者	2020 年 8 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日までに血栓回収を行った方
研究の意義と目的	当院では、血栓回収療法において専属スタッフ体制ではなく、多職種によるオンコール対応で診療を行っています。2022 年以降、来院から穿刺までの時間 90 分以内を目標として、デバイスキット化、JOIN 導入と撮像プロトコル見直し、検査オーダーセット化、MRI 更新を契機とした撮像プロトコル見直しなどの院内ワークフロー改善を段階的に実施しています。 本研究では、各取組みが時間指標に与えた影響を検討し、多職種協働による段階的な院内ワークフロー改善が血栓回収療法における時間短縮に寄与したかを解析します。
研究の方法	2020 年 8 月から 2026 年 4 月までに行われた血栓回収症例 91 例(Drip&Ship 症例を除く)を対象とし、年ごとと各取組み(従来体制・デバイスキット化・JOIN 導入と撮像プロトコル見直し・検査オーダーセット化・MRI 更新を契機とした撮像プロトコル見直し)に分類し、検討します。 評価項目は来院から初回画像取得までの時間、画像検査終了から穿刺までの時間、来院から穿刺までの時間(D2P)、穿刺から再開通までの時間、来院から再開通までの時間(D2R)と MRI 検査所要時間です。
提供する試料・情報	来院時刻、CT 開始時刻、MRI 検査開始時刻、検査終了時刻、血栓回収開始時刻、血栓回収終了時刻、使用 MRI 装置、TICI 分類
個人情報の保護	収集した試料・情報は、個人情報と研究用 ID を結びつける(対応表を作成する)場合、氏名、生年月日などの直ちに個人が特定できる情報は削除し、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に利用します。また、個人情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間 岡山旭東病院 放射線課で保存します。電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他紙媒体の情報は施錠可能な保管庫で保管します。
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の提供とも利用を停止することができます。試料・情報の提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	岡山旭東病院 放射線課 研究担当責任者:松下 明民 連絡先(電話番号) 086-276-3231(平日:9時~17時)